

性教育認定講師制度

1. 目的

日本思春期学会員が、学校現場と連携した性教育の実践が円滑に進むという目的に特化した制度です。学校現場、児童生徒のニーズに沿った性教育が展開できるような意識と知識を持つことを目指しています。

講習会では以下の視点を重視します。

- ①学校現場の状況、協働について最低限の理解に必要な内容。
- ②公衆衛生、健康教育の最新事情を理解する。
- ③生徒児童の前に立つために。
- ④外部講師を呼ぶために。

2. 制度の概要

①講習内容（基本の4コマ）

①学校と連携するために

～教科書、講義のスキル、NGワード、学校保健室からの要望、等～
これを聞けば、学校とのスムーズな連携、間違いなし。

②臨床・思春期のトピックス

～梅毒、デートDV、SNS、等～
いま、何が臨床や思春期のトピックスかがわかります。

③公衆衛生・予防的視点・ライフプラン

～妊孕性・人生双六を含む～
正解を押し付けるのではなく、先を見据えた効果的な性教育の視点を学びます。

④セクシュアリティ・生と死

～性的指向・性自認・性の自己決定・人権・関連領域～
いろんな「性」と「生」と「死」についての視点で「生きる力」を育てましょう。

②講習会受講と認定期間

年度 内容	2017	2018	2019	2020	2021	2022	2023	2024	2025	2026	2027
学校との連携		●	○	○		○	○	○		●	○
臨床・思春期のトピックス	●	○	○		○	○	○		○	●	○
公衆衛生・ライフプラン	●		○	○	○		○	○	●		○
セクシュアリティ・生と死	●	○		○	○	○		○	○	●	
認定期間	<p style="text-align: center;">←-----→</p> <p>学会開催後の申請で認定 初回受講後10年間</p> <p style="text-align: right;">←-----</p> <p>資格を途切れさせないためには認定最終年までに次の4コマを受講し申請する必要がある</p>										

4分野すべてを受講後、申請により認定する。

認定期間は、認定を申請する4分野の、最初の講習会受講年から10年間。

(例：2017年取得者：2017年11月1日～2026年10月31日)

③受講資格

日本思春期学会会員（学会開催期間内に加入手続きを済ませれば可）

当年度学術集会参加者（参加費納入済みの者）

④受講料

一コマ1,000円（資料代を含む）

⑤認定申請費用

認定申請に際して、6,000円の申請料を徴収。

⑥性教育認定講師の要件を満たした会員の認定申請方法

申請受付期間は9月末日。申請料の振り込みが確認できた申請者には、11月末日までに随時認定書を送付。

⑦認定期間の継続

認定期間の連続性を確保するためには、認定期間内に次の10年の認定資格を取得していること。

⑧認定者のメリット

1. HPでの紹介

認定者はHPで紹介し、ニーズ調査等を機会に全国の学校への広報を実施。

2. 認定期間内の継続的支援

ML等を活用した、継続的な情報提供、ネットワークづくり、交流の場づくり。

⑨認定の停止

1. 認定期間の超過

2. 学会員資格の喪失（学会費滞納を含む）

3. 制度の実績と予定

認定講師制度2年間の実績

①講習会受講者数

2016年度：第35回学術集会（東京浅草）

開催日	内容	事前申込	当日申込	実際受講総計
2016年8月27日（土）	学校と連携するために	110	71	175
2016年8月28日（日）	セクシュアリティ・生と死	109	73	176
2016年8月28日（日）	公衆衛生・予防的視点・ライフプラン	98	66	163
総計				514

2017年度：第36回学術集会（宮崎）

開催日	内容	事前申込	当日申込	実際受講総計
2017年8月26日（土）	公衆衛生・予防的視点・ライフプラン	101	76	175
2017年8月27日（日）	臨床・思春期のトピックス	110	90	200
2017年8月27日（日）	セクシュアリティ・生と死	92	83	168
総計				543

②性教育認定講師認定実績

2016年11月1日～2026年10月31日
30名
2017年11月1日～2026年10月31日
48名

③2018年度講習会実施予定

2018年度：第37回学術集会（東京）（予定）

開催日	時間	内容	会場
2018年8月18日（土）	（未定）	セクシュアリティ・生と死	一橋大学一橋講堂 （千代田区一ツ橋）
2018年8月19日（日）	7:50～ 8:50	学校との連携	
2018年8月19日（日）	（未定）	臨床・思春期のトピックス・	

（文責：性教育委員会 委員長 岩室紳也）